

自ら問い直す子供の育成

子供が批判的思考を働かせるための教師の関わり

(2次案内)



令和8年度 教育研究協議会

10月16日(金)

11月27日(金)

※音楽科のみ



【研究の重点】

- 教師がどのように関わることで批判的思考が働くのか、その具体を提案します
- 根拠・前提・推論を吟味し、子どもが自ら考えを再構成する姿を提案します

新潟大学附属長岡中学校

〒940-8530 新潟県長岡市学校町1丁目1番1号
TEL:0258-32-4190

FAX:0258-32-6340

担当：今井友之（研究主任）
MAIL:kobai@nagaoka.niigata-u.ac.jp

当校HPはこちらから→
URL: <https://nagaoka.ed.jp/>



午後1校時目 公開授業（5教科）13:20～14:10

数学科(1年3組) 授業者：柴野浩輔

「この避難所、本当に大丈夫？」
～ 数学的モデルを問い直す比例・反比例 ～

指導者 新潟大学教授 阿部 好貴
司会者 見附市教育委員会管理指導主事 宮田 雅仁

体育館を避難所とする課題に、関数を用いて取り組みます。一人当たりの生活面積や人数配分などの設定を生徒に委ね、「このモデルで本当によいのか」と前提や条件を吟味しながら、数学的モデルを更新する授業を提案します。数学を現実の予測・比較・判断に生かす子供の姿を目指します。

社会科(3年3組) 授業者：藤瀬悠太

よりよい民主政治に向けて何ができるか？
～ 民主政治と日本の政治 ～

指導者 新潟大学准教授 前田 洋介
司会者 長岡市立南中学校教頭 岸 崇

選挙権が18歳に引き下げられ今年で10年。主権者教育のさらなる促進が求められています。政治単元の入り口で、「模擬選挙」の振り返りを生かす単元構成や、「18歳選挙権」を問い直す活動により、よりよい民主政治に向けて何ができるか考える授業を提案します。

英語科(3年2組) 授業者：大矢寿和

L6 What Is Fair?
～異なる価値観との対話を通して、
自分の「当たり前」を問い直そう～

指導者 新潟大学教授 本間 伸輔
司会者 小千谷市立千田中学校教頭 佐藤 正秀

「公平とは何か」を題材に、友達との対話や新たな情報との出会いを通して、自分の考えを問い直します。生徒が必要な「思考を動かす言葉」を自ら選び、考えを広げたり深めたりしながら、自分なりの考えを再構成する学びを目指します。

美術科(2年1組) 授業者：池田義広

「わたしが感じる『美しい』とは」

指導者 新潟大学講師 片桐 彩
司会者 十日町市立橋小学校校長 金澤 健志

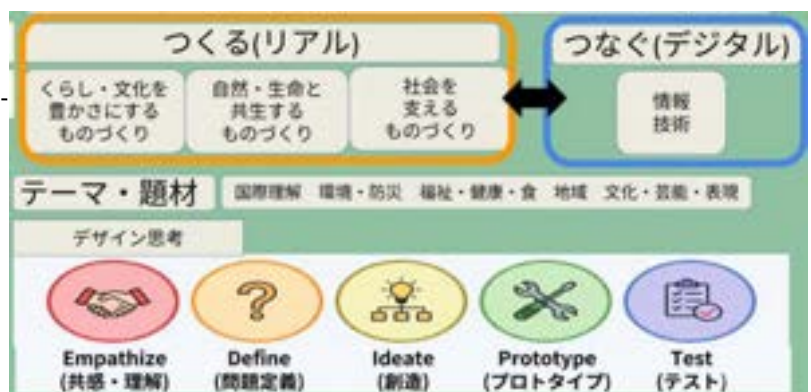
6月に実践した鑑賞活動で個々の生徒が「『美しい』のMy定義」をつくりました。My定義を基に各々が主題を設定し、自分にとっての美を探究しながら表現活動を行います。素材や技法を試す中で生まれる思い描いた表現とのズレを受け止め、自分にとっての美の表現を問い直し、更新していく姿を目指します。

ものづくり科 授業者：親松直樹 1校時目 2年3組 2校時目 2年1組 (内容は1校時目と同じ)

長岡に「もう一日」を。
～「また来たい」のきっかけをデザインしよう～

指導者 新潟大学教授 高島 徹
司会者 魚沼市立堀之内中学校教頭 中村 浩士

前単元で見いだした長岡の観光資源の魅力や価値を基に、長岡に「また来たい」と思えるきっかけをデザインします。生成AIを活用してアプリなどの試作品を制作・改善していきます。本時では、相互評価や対話を通して価値がより伝わるプロモーションの方向性について合意形成する過程を公開します。



「ものづくり科」とは？

本校では、次世代の社会に求められる「イノベーション人材」の育成を目指し、文部科学省研究開発学校として、幼小中一貫の新教科「ものづくり科」を創設しました。技術・家庭科（技術分野）、美術科、総合的な学習の時間の一部を再編し、「人の願いや社会の状況」に着目しながら、**新たな価値を創り出す学び**に挑戦しています。

「ものづくり科」では、単にハードとしての「もの」をつくるだけでなく、デザイン思考のプロセスを軸に、産官学のリソースを効果的に活用します。そして、多様な他者と協働しながら社会の課題を見出し、解決を目指す学びを展開しています。本公開授業では、**子供たちが身近な課題を自分事として捉え、新たな価値を求めて試行錯誤と検証を積み重ねる姿**をご覧ください。あわせて、新教科立ち上げの経緯や試行錯誤、カリキュラム開発の実際についても共有します。未来の社会を切り拓く新しい教育実践を、ぜひ一緒に探究しましょう。

午後2校時目 公開授業（7教科）14:20～15:10

国語科(2年3組) 授業者：野尻尚峻

問いで読みを深め合おう
～「小さな手袋」～

指導者 新潟大学名誉教授 鈴木 恵
司会者 小千谷市立小千谷中学校教頭 元井 啓介

内海隆一郎作「小さな手袋」を題材に、生徒が作った問いを出発点とした授業を展開します。本単元では、仲間との対話等を通し、読みが深まる問いとはどのようなものかを問い直すことで、読みを更新していく姿を目指します。

理科(3年1組) 授業者：石田幸弥

ワレワレハウチュウジンダ
～あなたの目には、何が見える？～

指導者 新潟大学講師 中西 裕也
司会者 十日町市立川西中学校教頭 吉野 貴明

第3学年「地球と宇宙」単元で、自分が選んだ天体から見える空を、小学生にどう科学的に伝えるかを追究します。図や模型、生成AIによるモデルを活用し、学び方や確かめ方を選択、調整します。根拠や条件を吟味し、科学的な説明を問い直しながら更新する授業を提案します。

保健体育科(1年3組) 授業者：鈴木高志

体育でアプリ？
～ゲームの事実から、自分たちの戦術を
問い直すスポレック～

指導者 新潟大学教授 森 恭
司会者 三条市立月岡小学校校長 田邊 輝明

スポレックは、糸魚川市発祥の室内ネット型球技で、その用具の特性からプレイの取り組みやすさが魅力の一つです。本単元では、教師自作の「ラリー蓄積アプリ」と「問い直しアプリ」を使用し、生徒が立案した戦術を、生徒の発想・工夫で発展させることをねらいます。

英語科(2年2組) 授業者：池田紗貴子

留学生に日本の魅力を紹介しよう

指導者 新潟大学教授 加藤 茂夫
司会者 長岡市教育委員会指導主事 多田 義和

新潟に来ている留学生に、日本の魅力を伝える発信型の活動に取り組みます。生徒は紹介する日本文化を自ら決定する上で、「留学生の興味・関心や背景等のニーズに合った適切な表現か」と問い直し、相手意識をもちながらより良い表現へと再構築していく姿を目指します。

技術・家庭科 家庭分野(3年2組) 授業者：星野倫美

附属幼稚園の園児が喜ぶ遊びを開発しよう！

指導者 新潟大学講師 山本 咲子
司会者 長岡市立宮内中学校教頭 渡辺 元子

附属長岡幼稚園の幼児に喜んでもらえる遊びを開発します。幼稚園での出会いをとおして、様々な視点や価値観に気づき、「幼児が喜ぶ遊び」を問い直しながら、よりよい遊びを試行錯誤することをねらいます。幼児と関わりながら学びを進められる幼稚園と連携した授業づくりを提案します。

特別の教科 道徳(1年1組) 授業者：宮田優美

わたしはどう生きるか
～弱さを認め、乗り越える生き方～

指導者 新潟大学講師 山本 詩織
司会者 長岡市教育センター指導主事 山田 真弘

“弱さを乗り越えること”をテーマに複数の教材をユニットとして扱い、自身の弱さと向き合おうとする主人公への自我関与を促していきます。問いや人数を委ねたp4cに取り組み、対話の中で道徳的価値と自己との関わりを問い直し、考えを深めていく姿を目指します。

11月27日（金） 公開授業（音楽科）

音楽科(1年2組) 授業者：吉村智宏

なぜ《長岡甚句》が戦後復興の心の支えとなり、現在まで受け継がれてきたのか

指導者 新潟大学准教授 工藤 千晶
司会者 三条市立下田中学校教頭 中村 正之

《長岡甚句》には、終戦後すぐの昭和21年長岡復興祭で歌い踊られた記録があります。「なぜ《長岡甚句》は戦後復興の心の支えとなり、現在まで受け継がれてきたのか」を主眼に、民謡の自由性や即興性を体験しながら、生活や社会における音楽の意味や役割について思考する姿を目指します。

11月27日 音楽科日程

受 付 12:35～12:55
全体発表 13:00～13:30
公開授業 13:40～14:30
協議会 14:45～16:15

◇研究にご協力いただいている先生方を、敬称略にて ご紹介しています。

当日のスケジュール

受付 12:15～12:35	
全体発表 12:40～13:10	○校長挨拶 ○ものづくり科全体発表 ○教科研究全体発表
午後 1 校時目 13:20～14:10	5教科公開 ○数学科 (1年3組) ○英語科 (3年2組) ○社会科 (3年3組) ○美術科 (2年1組) ○ものづくり科 (2年3組)
午後 2 校時目 14:20～15:10	7教科公開 ○国語科 (2年1組) ○英語科 (2年2組) ○理科 (3年1組) ○家庭分野 (3年2組) ○保健体育科 (1年3組) ○特別の教科道徳 (1年1組) ○ものづくり科 (2年1組)
協議会 15:20～16:40	

11/27(金)

○音楽科 (1年2組)

受付 12:35～12:55
全体発表 13:00～13:30
公開授業 13:40～14:30
協議会 14:45～16:15

参加者への特典

- ① 参加費無料
- ② 研究紀要無料
(学生は対象外)

アクセス



○長岡駅から徒歩の場合

長岡駅東口を出て、徒歩15分

○長岡駅からバス利用の場合

長岡駅東口バスターミナル

【悠久山行き】乗車

約5分乗車→学校町下車

○車をご利用の場合

校園内の駐車場をご利用ください。

参加のお申込はこちら



研究会で一緒に考えてみませんか？



どのような教師の関わりが
批判的思考を促すのか



批判的思考を働かせた子どもを
どのように見取り授業へつなげるのか

ともに考え、悩み、意見を交わし
子どもの姿から一緒に考える1日にしましょう

- ・参加は無料です。
- ・授業ごとにお申し込みください。
(複数の授業にご参加いただけます。)
- ・研究会1週間前頃に資料をデータで送付
予定です。
- ・ご不明な点につきましては、
下記までお問合せください。
担当：今井友之(研究主任)
TEL:0258-32-4190 FAX:0258-32-6340
MAIL:kobai@nagaoka.niigata-u.ac.jp